



学校だより No.6

日々新たに

尼崎市立日新中学校

令和元年9月27日発行

たった一人の勇気を信じて

学校での「いじめ」が大きな社会問題となっています。尼崎市はいじめ防止対策として、10月1日より「STOP i t」というスマホ等で利用できるアプリを活用して、いじめや虐待、学校生活全般の悩みに関する報告・相談窓口を設置します。また、市内全中学校で「いじめ脱傍観者授業」を実施し、「いじめ」について生徒に深く考えてもらう取組を行っています。先日の生徒朝礼でも、社会心理学者のソロモン・アッシュという人が行った次のような社会実験を紹介し、生徒達に考えてもらいました。

アッシュの社会実験は、大学生7人に2枚のカードを見せ、その1枚に描かれた1本の線と同じ長さの線を、もう1枚に描かれた3本の線の中から選んで答えてもらうというものです。実は7人の大学生の内6人は、わざと間違った解答を言うサクラ（偽者）で、6番目の大学生だけが本当の被験者（何も知らないで実験を受ける者）なのです。被験者は、5人のサクラの同じ間違った解答を聞いた後、自分が答えるのです。

この実験の結果、被験者が1人だけで答えた場合、ほぼ100%正しい解答をしたのに対して、5人のサクラの誤った解答を聞いた後で答えた場合、32%もの被験者がサクラと同じ誤った解答をしたのです。被験者の大学生は、他の6人のサクラの大学生から言葉や力による命令は一切受けていません。つまり、この実験は、社会において、目に見えない集団の圧力で、自分の答えがゆがめられてしまうことを実証したのです。

社会心理学で、他者の意見や信念に自分の態度や行動を合わせることを「同調」といいます。そして、その中でも特に、自分の考えに反して表面的に同調することを「追従」と呼びます。この社会実験では、被験者の約3分の1が、多数派の圧力に負けて「追従」してしまったのです。

この「追従」という行動は、集団の中で起こる「いじめ」の中にも見られます。いじめの構造は、「いじめられる生徒（被害者）」と「いじめる生徒（加害者）」に加えて、直接いじめはしないが、はやしたてたりおもしろがって見ている「観衆」と、見て見ぬ振りをする「傍観者」が存在する4層構造だと言われています。「いじめ」は「被害者」と「加害者」だけの問題ではなく、「観衆」がいじめを積極的に容認し、「傍観者」がいじめを暗黙的に支持していじめを促進する役割を担っていると考えられています。

この構造の中にも、本当はいけないと分かっているのに、また、止めなければならぬと感じているのに、その思いとは裏腹な行動、つまり、いじめを行ったり、はやし立てたり、見て見ぬ振りをしたりしている人がいるのです。そうした人達は、まさしく集団の圧力に負けて、「追従」してしまった人達だといえます。

アッシュは、さらに興味深い社会実験を行っています。それは、先に答える5人のサクラの中に、常に正答を答える「味方」を1人紛れ込ませるという実験です。そうした場合、なんと被験者が「追従」してしまう割合が、32%から5.5%にまで急激に低下したのです。

人が「追従」してしまう理由は、仲間から嫌われたくない、自分だけ違った行動をとりたくない、人間関係を壊したくない、そんな気持ちが働くからです。しかし、集団の中の一人が勇気をだして、自分が正しいと思うことを言葉や行動で示せば、それを見た人、聞いた人が、集団の圧力に屈することなく、自分が正しいと思うことを実行できる可能性が格段に高まるのです。

「いじめ」は、「人権」を踏みにじる絶対に許されない行為です。全ての大人・子どもが真剣に考えて、その根絶に取り組まなくてはなりません。生徒達には、一人では何もできないと思わないで、たった一人の勇気が「いじめ」をSTOPさせる大きな力となることを信じて行動してもらいたいと願います。

校長 宮田 聡

非行防止ポスターコンクール

尼崎南警察署と地元防犯協会による「非行防止ポスターコンクール」において、本校3年4組の山本果未さんが最優秀賞を受賞しました。

山本さんの作品は、涙を流す少女の周りに壊れたガラスを配置した構図で、薬物で壊れる未来を表現し、一度使うと元に戻れない恐さを訴えています。

9月2日に、尼崎南警察署で表彰式があり、警察署長さんから表彰状を授与されました。



たそがれコンサート

8月30日、日新中学校区健全育成協議会主催の「たそがれコンサート」を開催しました。雨天のため会場を体育館に移してのコンサートとなりましたが、会場は大盛況で170名を超える保護者・地域住民の皆さまに、吹奏楽部の演奏をお聴きいただきました。

吹奏楽部員はおそろいの水色のユニフォームで、「あなたとトゥラッタッタ」や「情熱大陸」、「世界に一つだけの花」等11曲を演奏しました。

体育館に響く軽快な音楽が、集まった人々の心をなごませ、心を繋ぐコンサートになりました。



10月の主な予定

月	火	水	木	金	土	日
	1 中間テスト(数社) パン弁当販売なし	2 中間テスト(英・国・理) 市内全体教科研究会 パン弁当販売なし	3 (火曜校時) 臨時文化委員会 臨時保健委員会	4 英語検定	5 生徒会地域清掃 8:20~	6 尼崎市民祭り
7 生徒朝礼 (道,月23456)	8	9 1年わくわくオーケストラ 5校時まで	10 合唱練習開始 (木12345,合唱) 生徒会専門委員会	11 (金12345,合唱)	12	13
14 《体育の日》	15 (月3火2345,合唱)	16 (道,木2345,合唱) 進路説明会 15:30~	17 合唱コンリハーサル (特別時間割)	18 食育デー (金12345,合唱) 漢字検定(放課後)	19 市立中学校 総合体育大会 ペイコム陸上競技場	20
21 (月62345,合唱)	22 創立記念日 《即位礼正殿の儀》	23 ★オープンスクール (道木34,合唱) 文活準備・リハ(PM)	24 ★オープンスクール 朝学なし45分×6(特別時間割) 学年合唱コンクール	25 ★オープンスクール 文化活動発表会 合唱コンクール本選	26	27
28 生徒朝礼	29 中高合同音楽会	30 (補充木6)	31 英語祭			

< 11月の主な予定 > 11/1(金)：尼崎コンサート 11/5(火)：トライやる事前訪問 11/6(水)：3年市内学力調査
11/9(土)：きょうちくとう運動会 11/11(月)：特別支援学級代休日 11/11(月)~15(金)：教育相談
11/19(火)~21(木)：期末テスト 11/22(金)：トライやる事前指導 11/25(月)~11/29(金)：トライやる・ウィーク

☆ 頑張る日新中生！ ☆

- 第73回尼崎市中学校総合体育大会 陸上競技大会

共通男子 110mH	第2位	3-1	石沢 侑雅
共通男子 走幅跳	第1位	3-1	大川 涼輔
共通男子 三段跳び	第1位	3-1	大川 涼輔
共通男子 三段跳び	第3位	3-5	宮脇 誠
共通女子 4×100mR	第3位	(保科, 山本, 鈴木, 村田)	
3年生女子 100m	第1位	3-3	山本 和華
2年生女子 100m	第1位	2-2	鈴木 心琴
共通女子 100mH	第3位	2-2	鈴木 心琴
- 第29回尼崎市中学校新人陸上競技大会

共通女子 100mH	第3位	2-2	鈴木 心琴
共通女子 走高跳び	第2位	2-2	服部 美咲
1年生女子 800m	第2位	1-4	中西 旦子
- 非行防止ポスターコンクール
最優秀賞 3-4 山本 果未



芸術鑑賞会（上方落語）

9月13日、体育館にて芸術鑑賞会として、出張上方落語鑑賞会を実施しました。

落語家の桂三幸さんと桂文路郎さんをお招きし、オチのきいた楽しい落語を聞かせてもらいました。

小咄や古典落語の「鶴」、創作落語の「桃太郎で眠れ

なかった子供のために」の他、生徒や先生が参加しての小道具を使ったワークショップ体験もあり、生徒達は、日本の伝統芸能に触れながら、大いに笑い、和やかでリラックスしたひとときを過ごしました。



◎ 地域清掃 ◎

生徒会が中心となり、清掃活動を通して地域の方々と交流を図ることを目的として、生徒のボランティアと地域の方々が一緒に「地域清掃」を実施します。保護者の方も参加可能ですので、是非ご参加ください。

日 時： 10月5日(土) 8時20分集合
集合場所： 本校グラウンド
清掃場所： 日新中学校区 ※1時間程度



◎ 全国学力・学習状況調査結果について ◎

4月に3年生で実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が出ましたのでお知らせします。

今回の結果において課題の見られた点については、校内の研究推進部を中心に各教科において、生徒の学力向上に向けての授業改善や学力補充等に取り組んでまいります。

具体的には、市の「授業改善推進事業」を活用し、校内研修・研究を推進して職員の実践的指導力の向上に努めるとともに、「学力定着支援事業」を活用し、学習支援員による授業補助や「チャレンジ学習」等の放課後学習の指導に力を入れていきたいと考えています。

今回の調査で、「生徒の読書離れ」に関して改善傾向が見られました。これは、1, 2年生の朝読書の取組や図書室の開放時間の拡大等の効果が表れてきたものと考えています。今後も引き続き、図書館教育の充実と読書習慣の確立に努めてまいります。

ご家庭においては、予習・復習等の計画的な家庭学習習慣が定着するよう、また、地域に関心を持ち地域行事へ積極的に参加していけるように、お子様への働きかけをお願いします。

なお、調査結果については、この調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただきますようお願いいたします。

《 調査結果 》

(1) 平均正答率の比較 ※全国比較（市内比較）

- ・国語 . . . -3% (±0%)
- ・数学 . . . -5% (-3%)
- ・英語（記述） . . . ±0% (+1%) ※ 聞くこと、読むこと、書くこと
- ・英語（口述） . . . -2% (非公表) ※ 話すこと

(2) 経年比較

- ・今回の国語と数学の調査は、昨年度までの「A（知識）」と「B（活用）」に分かれた問題ではないので単純に経年比較はできないが、国語、数学とも全国平均との比較において、昨年度とよく似た傾向が見られる。
- ・英語は、今年度から開始した調査なので経年比較はできないが、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」は全国平均なみ、「話すこと」については全国平均より若干低い傾向にある。

(3) 問題別調査結果

- ・国語については、特に「読むこと」の領域、「読む能力」の観点に課題が見られる。
- ・数学については、特に「関数」の領域、「数学的な見方や考え方」の観点に課題が見られる。
- ・英語の記述については、「聞くこと」「書くこと」の領域は概ね平均に達しているが、「読むこと」の領域、「外国語理解の能力」の観点にやや課題が見られる。
- ・英語のスピーキングについては、「話すこと」の領域のうち特に「外国語表現の能力」に課題が見られる。

(4) 生徒質問紙の結果

- ・計画を立てて勉強できている生徒が少ない。
- ・読書が好きな生徒は多い。
- ・授業時間以外で全く読書をしない生徒が、昨年よりも減少した。
- ・地域行事に参加できている生徒が少ない。
- ・コンピュータなどICTを使った授業を多く体験したと感じている生徒が多い。
- ・授業や学級活動で「話し合い」や「発表」が活用されていると感じている生徒が少ない。
- ・数学に対して苦手意識や負のイメージをもった生徒が多い。